

コンサートシリーズ「名古屋オルガンの秋」はカトリック五反城教会のパイプオルガンが修復されたこと、そして、カトリック五反城教会を創立した神言修道会の来日100周年を記念して2007年に始められました。

五反城教会には1978年にドイツ・ケルン市のペーター社によって建築された30ストップの楽器が設置されています。日本にあるパイプオルガンの中でも歴史的な価値の非常に高い楽器だと言えるものでしょう。当時の五反城教会司祭であったドイツ出身の神言会司祭ヨゼフ・トナイク神父はオルガンが設置された1978年に「名古屋オルガン友の会」を創立しました。以来、2001年に解散されるまで名古屋オルガン友の会は数多くのコンサート、又はコンサートシリーズを開催し、名古屋のオルガン文化の重要な担い手として活発な活動を続けていました。当時は中部地方でも希少なパイプオルガンのうちの

台であったこの楽器を使用し、マリー＝クレール・アランをはじめとした世界中から来日した名オルガニスト達がこぞってコンサートを行っています。数年前よりこのオルガンは修復が必要な状態となっていました。2007年9月から10月までの6週間をかけてペーター社が修復・総クリーニング作業と再整音を行い、完成当時の状態へと復興しました。

名古屋オルガンの秋実行委員会ではこの伝統を受け継ぎ、名古屋を中心に多面的なパイプオルガンの楽しさ、素晴らしさ、教会音楽の心を継続的に伝えていけるように活動をしたく考え、「名古屋オルガンの秋」を催します。

なるべく多くの方にパイプオルガンという楽器の魅力に触れて頂きたいという方針から、基本的に入場は無料としましたが、今後の継続的な活動が可能となるよう皆様のご寄金のご協力を心よりお願いいたします。

演奏者プロフィール

アグネス・エルケンス Agnes Erkens (Mezzo Soprano)

ケルン音楽大学教授のレナーテ・ペーターの元で声楽を学ぶ。

アグネス・エルケンスの芸術的活動は特にユダヤ教、キリスト教、イスラム教に共通する精神的な根源を求め、音楽を通してその心を結びつけることに原点が置かれている。従って従来のクラシック音楽のレパートリー以外にも古来から現代までのユダヤ文化において伝えられた歌、そして古ガリチア語/古ポルトガル語で歌われる頌歌の演奏を活動の中心としている。

ユダヤの歌を演奏するためにピアノ、クラリネットの楽器で結成されたアンサンブル「アグネス・エルケンス・アンサンブル」はドイツ各地、イタリアにおいてのコンサート、展覧会、そしてホロコースト追悼記念日等で絶賛を博しているが、2006年にはその功績、そして芸術的な価値が認められ、西ドイツラジオ放送局、ユネスコ、ノルドラインヴェストファーレン州各団体からCreoleワールドミュージックコンクールのノルドラインヴェストファーレン州部門一位に指名された。

北畑 葉佑 (Tuba)

東京都武蔵野市出身。9歳よりチューバを始める。国立音楽大学卒業、東京藝術大学大学院修士課程修了。チューバを稲川榮一、杉山淳の両氏に師事。2002年、別府アルゲリッチ音楽祭、パイロ国際青年芸術祭に参加。2008年、オルガンの吉田文氏と初リサイタルを開催。現在、東京ヒストリカルブラズ、東京ブラソサエティ、フィルハルモニア多摩、ユーフォニアム・チューバカンパニーのメンバー。日本ワグナー協会会員。

加藤 典子 (Conduction)

昭和53年度名古屋市芸術奨励賞受賞。平成5年度愛知県芸術文化奨励文化賞受賞。

リサイタル活動のほか、多くのオペラ等に出演し好評を博している。NHK FM、中京テレビなど放送界においても活躍。ことに13年間歌い続けたNHKラジオの幼児番組「ビッポ、ビッポ、ボン、ボン」の「うたのおねえさん」としての経験から、音楽の底辺拡大をライフワークとして、小・中・高校への学校訪問演奏に、またアマチュア合唱団の育成・指導にも力を注いでいる。

現在、名古屋二期会名誉会員、名古屋市文化振興事業団理事、愛知芸術文化協会会員、日本ポーランド友好協会会員。“コーロ・アマービレ” “かの子会” 指揮者。

かの子会 (Choir)

1979年に加藤典子氏を指揮者として創立された女声合唱団。以来ほぼ毎年に行なわれる定期演奏会、そして合唱祭や諸演奏会への参加のほか、レコーディングやテレビ、ラジオへの出演を通して活発な活動を続けている。1989年のポーランド・PAGARTの招聘によるワルシャワ・クラクフ公演をはじめ中国、フィンランド、リトアニアでもコンサートを行ない、いずれも絶賛を博した。

トーマス・マイヤー＝フィービツヒ (Organ)

ドイツ・デトモルト音楽大学作曲科、同大学院作曲課程科卒業。1978年来日。現在は国立音楽大学及び大学院にて作曲科の教授として後進の指導にあたる一方、自らパイプオルガン奏者としても日本とドイツを中心に活動。

児玉 たまみ (Narration)

同志社大学文学部卒業後、夢みていた中学教師になったものの教室にじっとしておられず、劇団へ。さらにじっとしておられず、歌の活動へ。2008年9月より国立高等音楽院コンセルヴァトワールにて研修。愛知県芸術劇場における「愛のコンサート」シリーズを始め、ホテルディナーショー、学校、地域や子どもたちのための読み聞かせやお芝居を取り入れた独創的なステージ創りを追求している。劇団ひまわり名古屋アクターズスクール、栄中日文化センター講師・愛知文教女子短期大学非常勤講師。

吉田 文 (Organ)

ドイツ・ケルン音楽大学カトリック教会音楽科、パイプオルガン科卒業。ドイツ国家演奏家資格所得。バーダーボルン大聖堂オルガニスト常時代理、ケルン南部司牧地区教会音楽家等を歴任。南山大学エクステンションカレッジ講師、「名古屋オルガンの秋」主宰。

ワークショップ申し込み要項

往復はがきに **お名前、ご住所、電話番号、ご希望の時間帯** (開始時間 13:00/14:00/15:00/16:00/17:00) をご記入の上、〒468-0077 名古屋市天白区八事山566 ブランドール八事山105号 **ルンデ「名古屋オルガンの秋」** 宛てにお送りください。

インターネットにて申し込みを受け付けています。詳細はオルガンの秋ホームページ<http://organaki.exblog.jp>をご覧ください。
先着順に受付をいたします。

交通のご案内

カトリック五反城教会 中村区二瀬町27 TEL:(052)412-3456 地下鉄東山線「岩塚駅」2番出口より徒歩5分	ロゴスセンター 昭和区八雲町104 TEL:(052)833-3110 南山大学構内

お知らせ

アグネス・エルケンス (Mezzo Sop.) & 吉田文 (Org.) 「聖母賛歌」

東京 場所◆東京カテドラル聖マリア大聖堂
日時◆10月26日(月) 19時 入場料◆2,000円
チケットのお問い合わせ◆ルンデ (052)861-0162
チケットぴあ 0570-02-9999
後援◆カトリック東京大司教区・カトリック新聞社・神言修道会

長崎 場所◆カトリック浦上教会浦上天主堂
日時◆10月29日(木) 19時 入場無料
後援◆カトリック新聞社・神言修道会

名古屋オルガンの秋 presents

カトリック五反城教会司祭館・信徒会館改築のための 楽しいクリスマスチャリティーコンサート

吉田徳子&吉田文 (Organ)
日時◆12月12日(土)開演18:00 カトリック五反城教会
入場料◆1,000円
主催◆カトリック五反城教会 協賛◆名古屋オルガンの秋
チケット販売・お問合せ先◆カトリック五反城教会 (052)412-3456